

【青森県野辺地町】

校務 DX 計画

文部科学省「GIGA スクール構想の下での校務の情報化の在り方に関する専門家会議提言」に基づく次世代の校務デジタル化に向け、文部科学省が公表した「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」に示されている、教育委員会及び学校が教育 DX を推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現するため、当町において、次に掲げる事項を重点的に推進する。

1 校務支援システムの導入

現在、校務支援システムについてはオンプレミス型のデモンストレーション版を小中学校で運用しており、学校現場において帳票作成、成績管理などさまざまな業務で活用している。

文部科学省「次世代の校務デジタル化推進実証事業」の状況を注視し、校務系ネットワーク等の現状分析や、教職員と学校現場における課題・ニーズにより合った校務支援システム（クラウド型）の導入を進めていく。

2 クラウドサービスの活用

児童生徒の欠席等の連絡を電話対応していることで業務に負担がかかっている。また、学校から保護者へのお便り配布等において、紙媒体でのやりとりが少なくない状況である。

これらのことを踏まえ、児童生徒・保護者連絡ツールを用いることで保護者と学校間での連絡対応における業務の効率化、時間の有効活用、ペーパーレス化につながるよう支援していく。

3 FAXでのやり取り・押印の見直し

令和5年12月に文部科学省が公表した「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」に基づく自己点検結果の報告によると、一部でまだ保護者・外部とのやりとりで押印・署名が必要な書類があり、クラウド環境を活用した校務 DX を大きく阻害していることが指摘されていることから、災害や教育ネットワークの不具合時など FAX の方が電子メール等より効率的な場合を除き、関係事業者等に継続的に働きかけを行う。